



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2020年3月期 決算補足資料

大陽日酸株式会社
2020年5月12日

1. 2020年3月期 通期業績

- 1) 業績概要
- 2) セグメント別業績

2. 2021年3月期 通期業績予想

- 1) 業績予想概要

3. 参考資料

- 1) 売上収益開示区分
- 2) 非経常収益・費用明細
- 3) 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）
- 4) 要約財政状態計算書（連結）
- 5) 重要経営指標（連結）
- 6) 事業別売上収益割合
- 7) 大陽日酸のガス供給体制

1-1. 業績概要

単位：億円	19/3月期 通期実績 利益率	20/3月期 通期実績 利益率	前期比 増減率	20/3月期 通期予想 (2/5発表) 利益率
売上収益	7,403	8,502	+1,099 +14.8%	8,550
コア営業利益	658 8.9%	903 10.6%	+245 +37.2%	915 10.7%
非経常損益	10	35	+25	35
営業利益	668 9.0%	939 11.0%	+271 +40.5%	950 11.1%
金融損益	-47	-147	-100	-145
税引前利益	620	791	+171	805
法人所得税	-183	-240	+57	-245
当期利益	437	550	+113	560
(当期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する当期利益	412 5.6%	533 6.3%	+121 +29.2%	540 6.3%
非支配持分に帰属する当期利益	24	16	-8	20

● 適用為替レート（期中平均レート）

単位：円	USD（米ドル）	EUR（ユーロ）	AUD（豪ドル）
前期	111.07	125.70	80.77
当期	108.95	120.85	73.81

● 2019年3月期 実績にて、欧州事業の取得関連費用（アドバイザー費用等）として27億円を計上しました。



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

1-1. 業績概要

【売上収益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期実績	増減率	20/3月期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業	3,639	3,561	-2.1%	3,600
米国ガス事業	1,873	1,988	+6.2%	1,990
欧州ガス事業	551	1,655	-	1,640
アジア・オセアニアガス事業	1,061	1,045	-1.5%	1,050
サーモス事業	278	251	-9.6%	270
合計	7,403	8,502	+14.8%	8,550

【営業利益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期実績	増減率	20/3月期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業	298	287	-3.6%	278
米国ガス事業	156	222	+42.4%	220
欧州ガス事業	65	248	-	250
アジア・オセアニアガス事業	91	99	+8.8%	107
サーモス事業	91	72	-21.4%	82
消去又は全社*	-45	-26	-	-22
コア営業利益 計	658	903	+37.2%	915
非経常損益	10	35	-	35
営業利益	668	939	+40.5%	950

*2019年3月期 実績「消去又は全社」にて、欧州事業の取得関連費用（アドバイザー費用等）として27億円が含まれていました。

1-2. セグメント別業績：国内ガス事業

単位：億円			19/3月期 通期	20/3月期 通期	増減率	
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	155	155	+0.0%
			パッケージ 小計	155	155	+0.0%
		バルク	セパレートガス	505	481	-4.6%
			炭酸ガス	233	227	-2.7%
			ヘリウム	44	46	+3.8%
			その他ガス	99	100	+0.4%
			バルク 小計	883	855	-3.1%
		オンサイト	セパレートガス	750	711	-5.2%
			その他ガス	69	64	-7.0%
			オンサイト 小計	819	775	-5.4%
	L Pガス			335	290	-13.3%
	特殊ガス			257	264	+2.5%
	小計			2,451	2,342	-4.5%
	機器・工事 他	ガス関連・プラント 他		713	777	+9.0%
		エレクトロニクス関連		206	195	-5.3%
溶接・溶断関連		268	246	-8.2%		
小計		1,187	1,219	+2.6%		
売上収益 合計			3,639	3,561	-2.1%	
セグメント利益			298	287	-3.6%	

売上収益増減要因

- ・バルク・オンサイト（セパレートガス）：主要関連業界（鉄鋼、非鉄、輸送機器、金属加工、化学）を中心に減少
- ・ガス関連・プラント他（メディカル）：
医療機器販売会社アイ・エム・アイ社買収による寄与

セグメント利益増減要因

- ・バルク・オンサイト（セパレートガス）：減収による減益
- ・医療機器販売会社アイ・エム・アイ社買収による寄与
- ・経費：人件費等によるコスト増加

1-2. セグメント別業績：米国ガス事業

単位：億円				19/3月期 通期	20/3月期 通期	増減率
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	465	465	+0.0%
			パッケージ 小計	465	465	+0.0%
		バルク	セパレートガス	357	365	+2.4%
			炭酸ガス	239	255	+6.4%
			ヘリウム	58	59	+2.5%
			その他ガス	109	111	+1.7%
			バルク 小計	764	791	+3.6%
		オンサイト	セパレートガス	80	98	+22.9%
			その他ガス	26	133	-
			オンサイト 小計	107	232	+116.2%
	L Pガス			53	44	-16.4%
	特殊ガス			70	63	-10.3%
	小計			1,461	1,597	+9.3%
	機器・工事 他	エレクトロニクス関連		49	49	-0.4%
		溶接・溶断関連		361	341	-5.7%
小計		411	391	-5.0%		
売上収益 合計				1,873	1,988	+6.2%
セグメント利益				156	222	+42.4%

※為替換算による影響：売上収益 ▲35.7 億円 セグメント利益 ▲3.0億円

売上収益増減要因

- ・バルク：セパレートガスを中心に出荷は堅調。
炭酸ガスは新規工場稼動開始により出荷増
- ・オンサイト：新規案件の稼動開始。
HyCO事業買収による貢献

セグメント利益増減要因

- ・セパレートガスを中心に産業ガス関連は全般的に堅調
- ・バルクガスの製造及び物流コストの増加
- ・HyCO事業買収による貢献

1-2. セグメント別業績：欧州ガス事業

単位：億円			19/3月期 通期	20/3月期 通期	
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	101	308
			パッケージ 小計	101	308
		バルク	セパレートガス	136	393
			炭酸ガス	82	265
			ヘリウム	22	83
			その他ガス	38	117
			バルク 小計	279	859
		オンサイト	セパレートガス	80	223
			その他ガス	13	37
			オンサイト 小計	94	260
	特殊ガス		28	82	
	小計		503	1,511	
	機器・工事 他	ガス関連・プラント 他	38	114	
		溶接・溶断関連	9	29	
小計		47	143		
売上収益 合計			551	1,655	
セグメント利益			65	248	

※為替換算による影響：売上収益 ▲21.2億円 セグメント利益 ▲2.5億円

- 2018年12月に米国Praxair, Inc.から買収した欧州事業の業績を「欧州ガス事業」で開示しています。
(2019年3月期通期実績は、2018年12月から2019年3月までの4ヶ月の業績です)
- なお、買収した欧州事業の取得日が2018年4月1日だったと仮定した場合の2018年4月1日から2019年3月31日の売上収益は1,634億円であり、前期比 +1.4%増加となります。
(この円貨換算での適用為替レートは、2020年3月期通期実績 120.85円/ユーロを用いております)
- スペインではオンサイトの売上収益が前期に比べ減収となりましたが、ドイツ、ベネルクス、北欧などでは、バルクを中心に増収となりました。しかし、COVID-19の感染拡大により、スペイン、イタリアなどでは、2020年3月度の売上収益は前年同月比で減収となりました。

1-2. セグメント別業績：アジア・オセアニアガス事業

単位：億円			19/3月期 通期	20/3月期 通期	増減率	
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	39	35	-8.1%
			パッケージ 小計	39	35	-8.1%
		バルク	セパレートガス	184	158	-14.2%
			炭酸ガス	16	19	+12.6%
			ヘリウム	48	57	+18.9%
			その他ガス	29	27	-6.7%
			バルク 小計	279	262	-6.1%
		オンサイト	セパレートガス	36	37	+2.1%
			オンサイト 小計	36	37	+2.1%
		LPガス			141	141
	特殊ガス			289	274	-5.3%
	小計			785	750	-4.4%
	機器・工事 他	ガス関連・プラント 他		178	174	-2.2%
		エレクトロニクス関連		48	68	+42.2%
		溶接・溶断関連		49	52	+4.5%
小計		275	294	+6.7%		
売上収益 合計			1,061	1,045	-1.5%	
セグメント利益			91	99	+8.8%	

※為替換算による影響：売上収益 ▲39.1億円 セグメント利益 ▲4.1億円

売上収益増減要因

- ・バルク（セパレートガス）：主に中国で大きく減少
- ・LPガス：豪州での販売は順調
- ・特殊ガス：電子材料ガスの出荷減
- ・エレクトロニクス関連機器・工事：台湾で大きく増加

セグメント利益増減要因

- ・豪州でのLPガス事業の採算が改善
- ・電子材料ガスの減収による減益
- ・Leeden NOXでの天然ガス液化事業で前期4Qに計上した減損13億円の剥落*1

*1 インドネシアで進めている天然ガス液化事業*2において、原燃料を取り巻く市場環境が大きく変化し、将来の収益性が低下したため、当該事業に供する資産の減損処理を行いました。

*2 インドネシアの電力会社から委託を受けて、発電用天然ガスを液化してインドネシアの離島に輸送する事業

1-2. セグメント別業績：サーモス事業

単位：億円		19/3月期 通期	20/3月期 通期	増減率
売上収益	国内	220	218	-0.9%
	海外	57	32	-43.1%
	売上収益 合計	278	251	-9.6%
セグメント利益		91	72	-21.4%

※為替換算による影響：売上収益 ▲3.0億円 セグメント利益 ▲1.0億円

売上収益増減要因

- ・国内：冷夏・暖冬（天候不順）、COVID-19感染拡大による主要製品の販売数量減。フライパンの拡販
- ・海外：韓国での販売環境の大きな変化。
COVID-19感染拡大による生産工場の稼働率低迷

セグメント利益増減要因

- ・国内：減収による減益
- ・海外：韓国での減収による減益。
生産工場の稼働率低下による減益。
持分法適用会社の販売は低調

2 - 1. 2021年3月期 業績予想概要

単位：億円	20/3月期 通期実績 利益率	21/3月期 通期予想 利益率	前期比 増減率
売上収益	8,502	8,300	-202 -2.4%
コア営業利益	903 10.6%	820 9.9%	-83 -9.2%
非経常損益	35	0	-35
営業利益	939 11.0%	820 9.9%	-119 -12.7%
金融損益	-147	-145	+2
税引前利益	791	675	-116
法人所得税	-240	-215	-25
当期利益	550	460	-90
(当期利益の帰属)			
親会社の所有者に帰属する当期利益	533 6.3%	440 5.3%	-93 -17.5%
非支配持分に帰属する当期利益	16	20	+4

● 適用為替レート（期中平均レート）

単位：円	USD (米ドル)	EUR (ユーロ)
2021年3月期 想定	108	120
2020年3月期 実績	108.95	120.85



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

(参考資料)

売上収益開示区分

セグメントごとの売上収益開示区分の内訳は下記の図表の通りです。

開示区分	内容
ガス	酸素、窒素、アルゴンをはじめとする産業ガス、L Pガス、特殊ガス
パッケージ	お客さまに充填容器（シリンダー）を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態
セパレートガス 他	セパレートガス（大気から分離して製造する酸素・窒素・アルゴン）を含む、すべてのガス
バルク	お客さまの構内に液化ガスの貯槽を設置して、ガスの利用方法に応じて供給する形態
セパレートガス	酸素、窒素、アルゴン
炭酸ガス	炭酸ガス、ドライアイス
ヘリウム	ヘリウムガス
その他ガス	水素などのその他のガス
オンサイト	お客さまの隣接地に生産工場を設置して、配管を直接繋いで、常時供給する形態
セパレートガス	酸素、窒素、アルゴン
その他ガス	水素、一酸化炭素などのその他のガス
L Pガス	プロパンガス、ブタンガス
特殊ガス	半導体や液晶パネルの製造工程で使用される電子材料ガス、標準ガス、高純度ガスなど
機器・工事 他	ガス利用時の付帯設備、ガス純度を上げるための精製設備、設備据付工事など
ガス関連・プラント 他	供給設備・除害装置などのガス関連機器、空気分離装置（Air Separation Unit）など
エレクトロニクス関連	エレクトロニクス向けの設備据付・配管工事、不純物を除去する精製装置など
溶接・溶断関連	ガス溶接・溶断を含む金属加工で利用される機器・器具類、溶接棒など（ハードグッズ）

非経常収益・費用明細

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期実績	前期比
コア営業利益	658	903	+245
非経常損益	10	35	+25
営業利益	668	939	+271

【非経常収益・費用明細】

19/3月期 通期実績		20/3月期 通期実績	
明細	金額	明細	金額
国内土地売却益	13億円	国内土地売却益等	65億円
その他	-3億円	alfi事業再構築関連費用（サーモス）	-5億円
		関係会社事業整理に伴う減損損失等	-24億円
合計	10億円	合計	35億円

要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：億円		19/3月期 通期実績	20/3月期 通期実績	前期比
	税引前利益	620	791	+171
	減価償却費・償却費	561	837	+276
	運転資金増減	-24	31	+55
	その他	-170	-160	+10
① 営業活動によるキャッシュ・フロー		986	1,500	+514
	設備投資	-741	-728	+13
	投融資	-6,911	-7	+6,904
	その他（資産売却等）	103	109	+6
② 投資活動によるキャッシュ・フロー		-7,549	-626	+6,923
フリー・キャッシュ・フロー（①+②）		-6,562	874	+7,436
純有利子負債		9,457	8,983	-474
調整後ネットD/Eレシオ		1.54	1.45	-0.09

● 純有利子負債：有利子負債 - 現金及び現金同等物

● 調整後ネットD/Eレシオ：（純有利子負債 - 資本性負債*1） / （親会社の所有者に帰属する持分 + 資本性負債*1）

*1 資本性負債：ハイブリッドファイナンス*2で調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

*2 ハイブリッドファイナンス：負債でありながら、利息の任意繰延、超長期の返済期限、清算手続き及び倒産手続きにおける劣後性等の資本に類似した特徴を有しているファイナンス形態

要約財政状態計算書（連結）

単位：億円	19/3月期 期末実績	20/3月期 期末実績	比較 差異		19/3月期 期末実績	20/3月期 期末実績	比較 差異
現金及び現金同等物	596	1,000	+404	有利子負債*	10,054	9,983	-71
営業債権	1,979	1,792	-187	営業債務	1,059	938	-121
棚卸資産	662	658	-4	その他	2,237	2,187	-50
その他	232	221	-11	負債 合計	13,351	13,110	-241
流動資産 合計	3,471	3,673	+202	資本金・剰余金等	4,295	4,727	+432
有形固定資産*	6,393	6,551	+158	その他の資本の構成要素	-229	-634	-405
のれん	4,377	4,192	-185	親会社の所有者に帰属する持分	4,066	4,093	+27
無形資産	2,538	2,320	-218	非支配持分	292	313	+21
その他	929	778	-151	資本 合計	4,358	4,406	+48
非流動資産 合計	14,238	13,844	-394	負債・資本 合計	17,710	17,517	-193
資産 合計	17,710	17,517	-193				

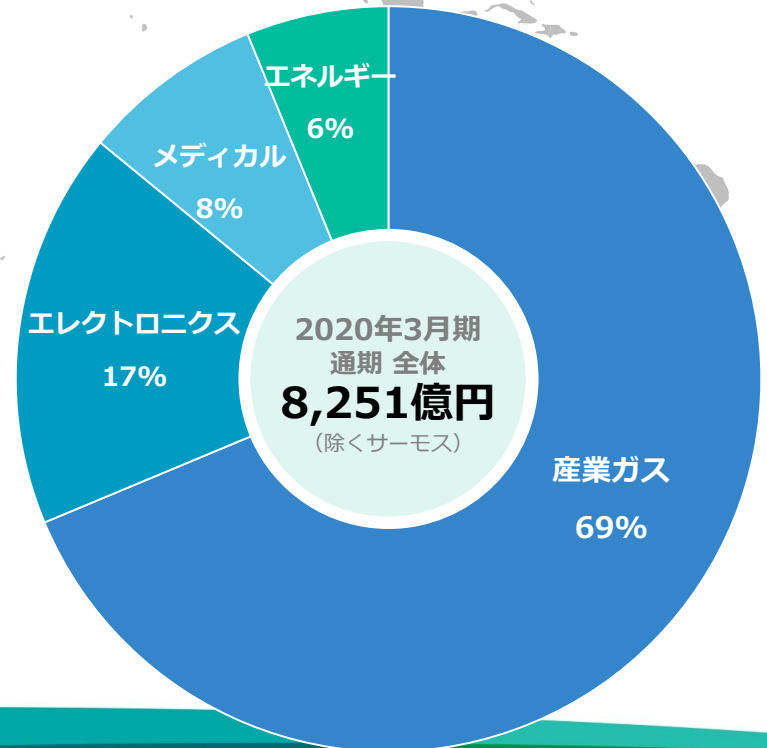
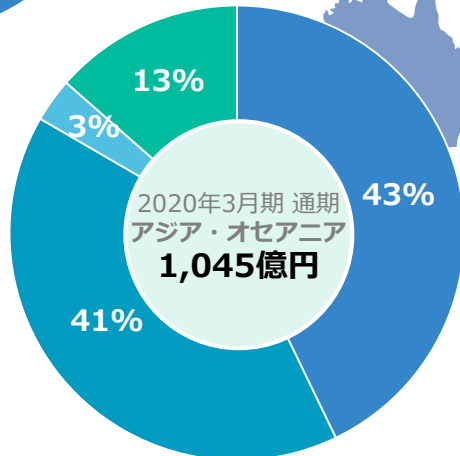
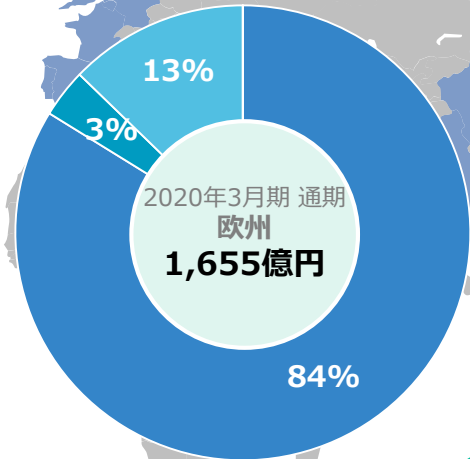
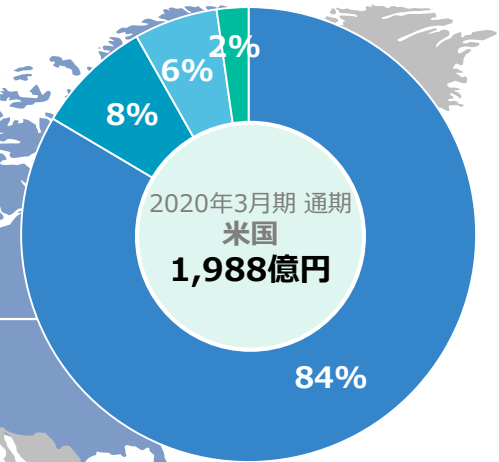
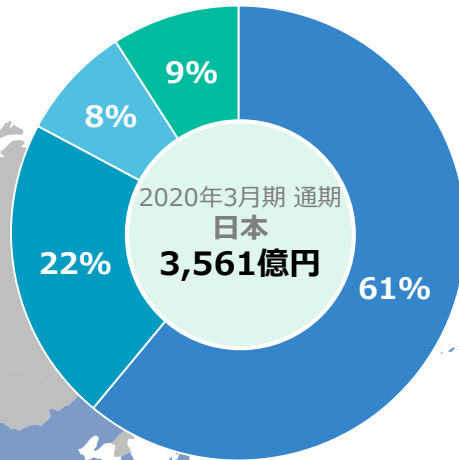
* IFRS第16号（リース）を適用することにより、本基準の適用開始日において、当社グループのリース関連の資産の帳簿価額が341億円増加し、同時にリース負債が346億円増加しております。

重要経営指標（連結）

	19/3月期 期末実績	20/3月期 期末実績	21/3月期 期末予想
基本的 1 株当たり当期利益	95.42円	123.26円	101.67円
海外売上収益比率	47.9%	55.5%	-
ROE	10.4%	13.1%	10.4%
ROCE	6.2%	6.4%	5.8%
一株当たり年間配当金	25円	28円	28円
配当性向	26.2%	22.7%	27.5%
設備投資（資金ベース）	741.52 億円	728.10 億円	941.00 億円
投融資*	6,911.26 億円	7.33 億円	-
減価償却費	561.11 億円	837.98 億円	860.00 億円
有利子負債残高	10,054.02 億円	9,983.89 億円	9,704.00 億円
純有利子負債残高	9,457.82 億円	8,983.84 億円	8,818.00 億円

* 上記で開示している「投融資」は、投資活動によるキャッシュ・フローの投融資（投資有価証券の取得、子会社株式の取得、事業譲受）です。

事業別売上収益割合 (サーモス事業除く)



大陽日酸のガス供給体制

セパレートガス



空気分離装置(ASU)

酸素 窒素 アルゴン



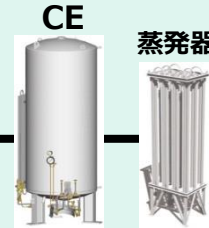
パイプラインで供給
(オンサイト)

酸素 窒素 アルゴン



液化ガスローリー
(バルク)

酸素 窒素 アルゴン



CE

蒸発器

充填所

パッケージガス

パッケージガス デュワー瓶 (液体)

シリンダーによる供給
(パッケージガス)



酸素 窒素 アルゴン

タンクローリー、シリンダーによる供給
(バルク、パッケージガス)



炭酸ガス 水素 ヘリウム
L P ガス 特殊ガス アセチレン

お客さま

- ・鉄鋼・非鉄金属
- ・エレクトロニクス
- ・石油・化学
- ・自動車・機械
- ・ガラス・製紙
- ・医療
- ・食品
- ・その他

その他のガス



化学工場のオフガス 海外からコンテナ等で輸入

炭酸ガス 水素 ヘリウム
L P ガス 特殊ガス アセチレン

注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございまして、ことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますよう、お願い致します。